



からしだねの由来 マタイ 13 章 31 節、マルコ 4 章 30 節、ルカ 13 章 18 節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南 1 丁目 35-3
〒807-0025
TEL 093 (201) 0680 FAX (201) 7354
第 419 号

“悲しむこと”の意義を見つめて

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

わたしたちの住む世界は創造された方をして「きわめて良かった」（創世記 1・31）と言わしめるほどの存在です。四旬節を過ごす教会が悲しみや痛みを背負わされている世界、しかも、人的要因によって背負わされている世界に向けてこの創造主のことは響かせる使命を自覚することができますように。さて、今月号も昨年の 8 月から 10 月にかけての一般謁見演説において、教皇が行った連続講話、「識別について」の内容を紹介いたします。「悲嘆すること」とその意義についてです。教皇の意図は人類が向き合うべき悲しみの意味を問いかけることに向けられていることが分かります。以下、抜粋。

『悲しみを読み解く方法を学ぶことは重要です。わたしたちは皆、悲しみとはどのようなものか知っています。けれども、その解釈の方法を知っているでしょうか？現在感じている悲しみがわたしにとって、どのような意味があるのかを知っているでしょうか？現代において、それは、ほとんどの場合、ネガティブに捉えられています。まるで、いかなる代償を払っても避けるべき悪であるかのように……。そうではなく、悲しみは人生にとって、欠くことのできない警鐘になり得るのです。より豊かで、さらに肥沃な土地を探索するよう招きながら。これは一時的なことや現実逃避をしていては得られないことです。聖トマスは悲しみを魂の痛みと定義します。体の神経のように、わたしたちの注意を、起こりうる危機、あるいは気づくことのなかった恩恵へと向け直します（『神学大全』Ⅱ—Ⅰ、第三十六問題、第一項参照）。だからこそ、悲しみはわたしたちが健全であるためには、なくてはならないものなのです。自分自身や他者を傷つけることから守ってくれます。悲しみを感じず、先へ進んでしまうことは、はるかに深刻で危険なことになるでしょう。悲しみは時々、信号のような役割を果たします。「止まれ、止まれ！ここは赤だ。止まれ」と。

レプトン会より	4・5面
教会学校	5面
幼稚園から	6面
委員会等報告	7・8面
お知らせ	8面

一方で、善を行いたいと望む人にとって、悲しみは、誘惑する者（悪魔）がわたしたちのやる気を削ごうとする妨害です。仕事や勉強、祈り、決断した誓いなどを考えてみましょう。退屈になったり、悲しくなったりしてすぐに、それらのことを諦めていたら、何も成し遂げられないでしょう。わたしたちは皆、このようなことを経験します。主に使えたいと望む人にとって、悲嘆によって、または「だめだ。つまらないからやりたくない」という思いによって、道に迷わされないでいることは重要です。気を付けましょう。興味深いことに、福音書には、イエスが断固とした態度を持って、誘惑を退ける場面が描かれています（マタイ 3・14～15、4・1～11、16・21～23 参照）。試練がイエスを四方八方から襲います。しかし、いつもイエスの中には動かないもの、つまり、御父のみ旨を行うという決意があり、それらの試練はイエスの進む道を妨害できず、邪魔するのをやめます。霊的生活において、試練は重要な時です。聖書ははっきりとこう書いています。「主に仕えるつもりなら、自らを試練に向けて備えよ」（シラ 2・1）。善い道を選びたいのならば、自らを備えましょう。障害や誘惑に合い、悲しみに暮れる時もあるでしょう。それはまるで、教授が生徒に質問をするようなものです。生徒が教科の本質的要素を理解していると分かれば、教授はしつこく追及しません。生徒はテストに受かっているからです。もし、わたしたちが、孤独や悲嘆を、ここを開いて気づきのうちに経験する方法を知っているなら、人として、また霊的な観点から強くなって切り抜けることができるでしょう。手に負えない試練はありません。わたしたちが対処できる以上の大きな試練もありません。ですが、試練から逃げずにいましょう。この試練にどのような意味があるのか、わたしが悲しむ意味は何か、なぜ悲しんでいるのかを考えましょう。今この瞬間にわたしが悲嘆に暮れているのはどのような意味があるのか？悲嘆のために、前へ進めないのはどのような意味があるのか？聖パウロはわたしたちにこう思い起こさせます。「誰も耐えられないような試練には遭いません。なぜなら、主は決してわたしたちをお見捨てにならず、主とともにいれば、いかなる試練をも乗り越えられるからです」（一コリント 10・13 参照）。今日乗り越えられないなら、また別の時に立ち上がり、歩み続ければ、明日乗り越えられるでしょう。悲しみや悲嘆の時に、打ち負かされ続けてはいけません。前へ進むのです。主が、常に旅路である霊的生活の勇敢な道のりを祝福してくださいように。

（これまで）わたしたちのこころを乱すものについて読み解くことがどれほど重要なのかを見てきました。その時の感情に刺激され、性急に決断し、手遅れになったときに、その決断を後悔してしまわないためです。つまり、何が起きているのかを読み解き、それから決断をします。この意味で、悲嘆と呼ぶ、こころの中がすべて暗く悲しい精神的な状態のときでさえ、悲嘆の状態は成長の機会となり得るのです。実際、不満や健全な悲しみが少しもなく、孤独でいられ、逃げることなく自分自身でいられる健全な力

がないなら、わたしたちは常に、ものごとの表面にとどまり、自分の存在の核となる部分に決して触れることができないという危険を冒すことになります。悲嘆はわたしたちを絶えず警戒させ、注意深く謙遜にさせて、わたしたちを気まぐれな風から守ってくれます。人生における成長、ひいては霊的生活における成長のための不可欠な条件です。感情を持たず完璧だけれども、「無菌の」こちらの静けさは、決断や行動の基準という点で、わたしたちを人間味のない人にしてしまいます。感情を無視することはできません。わたしたちは人間で、感情は人間性の一部です。ですから、感情を理解しないならば、わたしたちは人間味のない人間になってしまうでしょう。感情を経験しないならば、わたしたちも他者の苦しみに関心となり、自分自身の苦しみも受け入れられなくなるでしょう。

悲嘆もまた、無償の愛への招きであり、常に感情を満足させるためだけの目的で行動しないようにという招きです。悲嘆にくれることは、わたしたちに成長とより成熟していく可能性を与えてくれます。また、主やわたしたちの愛する人たちとのより素晴らしい関係を与えてくれます。その関係とは、単なる持ちつ持たれつの関係になってしまうことのない関係です。何の他意もなく、イエスと、主とともにいることを学ぶことは、わたしたちにとって、とてもためになります。まさに、わたしたちが大切にしている人々という時のように。大切にしている人のことをもっともっと知りたいと思います。なぜなら、彼らとともにいることは素晴らしいことだからです。

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、悲嘆は、すべてが真っ暗闇で何も感じませんが、その悲嘆のうちに神を捜し求めることです。その場合、もし神が私たちの願望の現れだと考えるなら、わたしたちがいつも計画する側で、同じ音楽を繰り返し流すレコードのように、いつも喜んで、満足しているでしょう。そうではなく、祈る人は、結果は予想できないものだと気づきます。しばしばわたしたちのこころを奪ってきた聖書からの経験や一節が、今では不思議なほどわたしたちのこころを動かしません。しかし、同様に、予想外に、今まであまり関心を持たなかったり、あえて避けてきた出会いや一節だったり、十字架の経験などが、計り知れない安らぎをもたらしたりします。悲嘆を恐れないでください。忍耐を持って立ち向かいましょう。悲嘆を避けしないでください。悲嘆のうちに、キリストのみこころを捜してみましょ。主を見つけましょ。そうして、いつも答えはやって来るのです。困難に直面しても、そのために、気を落とさないでください。この試練に、決意と決して欠くことのない神の恵みの助けを借りて、立ち向かいましょ。そして、わたしたちの中で、わたしたちを祈りから遠ざけようとする声を繰り返し聞くな。誘惑する者の声として、正体を暴くことを学びましょ。影響を受けないようにしましょ。その声がわたしたちに語りかけることとは、逆のことを単純に行ってみましょ。』



水巻教会レプトン会の皆様

2023年分の援助金30万円を送っていただき、ありがとうございました。東京のカリタス会本部より、1月15日付で送金されたとの連絡を受けました。いつも、温かいご支援をいただき、心より感謝いたします。

合わせて、水巻教会の活発な活動もお知らせ頂き、私たちの心もワクワクしました。世界はいろいろな複雑な出来事、悲しい事件で満ちていますが、その一方で、複数の国の人たちが同じ共同体で和気あいあいと過ごすところに、主がこの世にお生まれになった本当の意味が表れているように思います。

さて、2023年から子ども食堂を再開できる見通しが立ちました。それで、2023年分の支援金は子ども食堂のために使わせていただく予定です。いつも、本当にありがとうございます！！

2022年の活動の様子をお届けいたします。



● “奇跡の主”の祝日に行列しました。



● クリスマスのお祝いを他校の生徒と一緒にしました

なお、2022年の支援金については、子ども食堂はコロナの影響でまだ始めることができませんでしたので、大切に保管されています。

年の終わりに教育庁からいろいろな改善の要求が来たことなどから、環境整備のために支援金を使わせていただきたいと考えています。2022年分の支援金は保育園のメンテナンスのために使わせていただくことをお許しく下さいませ。緊急に修理が必要な箇所は、トイレの下水が破損しているので、その取り換え工事、教室と厨房の壁の塗り替え工事です。夏休み中に、作業を進めていきたいと思います。

● 子ども食堂厨房の壁



ただ今のところ、マリア・タキ保育園の門の外に保育園の名前を公表する看板がなかったので、小さいながら、外壁に看板を取り付けることができました。

●外壁に看板



2023年1月22日 リマの聖女ローザ準管区 シスターマリー中村英子



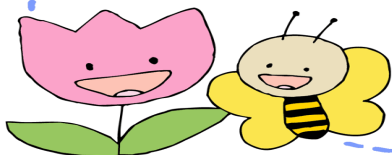
教会学校のページ



現在、教会学校は基本的には月の第2、4週の日曜日ミサ後に行われています。

第2週は座学、第4週は「こころの会」に合流してブルーレイの映像を通じて学んでいます。先生役のメンバーは谷口神父様を筆頭に教会役員の女性メンバーが主です。生徒の方は小学校、および幼稚園児もいます。

このところ小学生以下のメンバーは固定的になっていますが、対象者はもっといるはず。もっとアピールしていきたいと思っています。



写真がちょっと古いけれど
教会学校メンバーです





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 3月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

先日、年長児の体育公開を行いました。初めて、体操教室をご覧になる保護者の方もいて、子どもたちがどのように身体を動かしているのか見て頂くことが出来ました。ドッジボール大会では、最後まで諦めずボールに向かう姿が見られました。外遊びの時間もドッジボールをする子ども達はとてもいきいきしています。

2月3日の節分では、赤鬼さんがやってきて、紙で作った豆で豆まきをしました。好き嫌いをする鬼や泣き虫鬼など、自分がやっつけたい鬼と戦うことが出来ていました。

3月11日は、卒園証書授与式です。練習も始まり、子どもたちは小学校に行くことを楽しみにしています。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559

e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉

2月3日は、節分でした。ペープサートで、豆まきの劇がありました。

「昔々の、ずうっと昔のお話です。ある日、山に住んでいた鬼達が、楽しく暮らしていた村に下りてきました。

そして、頑張って作った野菜やおにぎりを、みんな持って行ってしまいました。人々は悲しみましたが、仕方ありません。又、頑張って野菜やお米を作りました。しばらくした頃、又鬼達が山から下りて来て、・・・」「どうしたら鬼をやっつけることができるでしょう?・・・」福の神のお話もありました。その後、みんなで「鬼は外、福は内～」と歌って、エアー豆まきをしました。



最近は、カート押しや引き車押しの他に、タイヤ引きが流行っています!「よいしょ、よいしょ、引っ張って!」

TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同



委員会等報告

2023年2月分

2月度小教区委員会 2月5日

1. 行事予定

- ・3月 4日(土) 19時～四旬節黙想会
シスター中野春香氏(純心聖母会)。
- ・3月 5日(日) ミサ後四旬節黙想会。
- ・3月12日(日) 小教区委員会
- ・3月17日(金) 個別のゆるしの秘跡(10時～12時、18時半～19時半)
- ・3月19日(日) 18時～ベトナム語ミサ

2. 議題

(1) 各委員会報告

①広報委員会

- ・2月号の「からしだね」は容量が増え、10ページとなった。

②典礼委員会

- ・2月26日(日)に典礼委員会を開き、聖週間に向けた準備を行うので、委員会の動きに合わせて協力をお願いしたい。

③営繕委員会

- ・夜半に典礼が行われることがあり、また防犯のためにも外灯を設置したい(聖週間までに間に合わせたい)。どのようなものにするか、どこに設置するのかは検討中。

④冠婚葬祭の会

- ・先日の葬儀では多くの方に協力をいただいたので感謝したい。また、協力下さる方の中から、冠婚葬祭の式次第の確認や練習をしたいとの声があるため、研修会を開くようにする(式次第が整い次第)。
- ・冠婚葬祭で使用する備品管理のため、2階の空いたスペースに専用の用具棚を設置し

たい。既に使用しているグループもあるため、調整したうえで進めたい。

⑤総務

- ・2月24日(金)に抱樸支援のための炊き出しを行うので、ご協力をお願いしたい。

(2) 教区本部からの通知について

- ・教区本部からの通知があり、アベイヤ司教様からの手紙の内容(財政改革)に基づき、2023年度の予算立てに際して留意しておく点があるとのこと。

・上記の内容をも含む財務改革の実施のため、3月5日(日)15時から小倉教会にて説明会があるので、小教区委員長と財務と事務の3名が出席する。その後、まず3/12(日)の小教区委員会での簡単な説明をもって情報共有を行う(小教区委員会での情報共有の後、臨時信徒総会を開き、信徒全員との情報共有を行う)。

(3) 小教区委員会規約(改訂版)作成のための準備委員会について

- ・1月22日(日)に第1回目の準備委員会を開いた。既存のもの(2007年1月14日付けで承認)と、前もってたたき台として準備されていたものとを比較しながら読み合わせを行った。今後、条文の表現の修正を行いつつ進めていくこととする。次回は2月19日(日)13時～。なお、初回は議事録を残していなかったため、今後は議事録を残すようにする。

- ・また、「水巻教会役員選出規定」について

も改訂する必要があり、参考のために小教区委員会であらためて意見を出して欲しい。

＜意見＞：立候補者を募る、地区から推薦する人の名を挙げてもらう(地区の枠内に限らず)。

(4) その他

①ミサ意向の依頼を行うにあたっての認識のずれがあるため、新しいミサ式次第の研修

会で触れたことを含め、「からしだね4月号」に司祭からの説明文を載せるようにする。その後、信徒全体に向けての説明会を行う。

②2月12日・19日の地区集会のための用紙を渡しておくので、当日はそれに記入し、提出していただきたい。なお、主任司祭からの資料(議題のポイント説明文)は当日、配布する。



★四旬節の黙想会★

日 時：3月4日(土) 19時～

3月5日(日) ミサ後～12時

黙想指導：純心聖母会 シスター中野春香

※詳しい内容やテーマは、日曜日のお知らせや週報でご確認ください。

★特別献金★

1月29日 世界こども助け合いの日献金
27,804円

ご協力、ありがとうございました。

トルコ・シリア地震被害者支援金

2月12日 37,002円

2月19日 88,883円

合計 125,885円

ご協力、ありがとうございました。

★個別のゆるしの秘跡★

日 時：3月17日(金)

午前10時～12時

午後6時30分～7時30分

★こころの会★

水巻教会には、現在数十人のベトナム人青年がミサに見えられています。

ここで、今回のブルーレイ上映はベトナム・ハノイ周辺の文化や人の営みを紹介する番組を組みました。

これを見てベトナムの青年たちを少しでも理解できるようになればと思います。